

第4回懇談会後にいただいた主な質問・意見等（未回答分）

1 校舎関係

質問・意見	回答
1. 地域との交流が盛んなので、コミュニティのための多目的会議室があると良い。生徒とは別の出入り口で、会議室に直接入れるような開放玄関があると防犯対策にも安心である。	地域との交流が図れるよう、1階に開放会議室を設けました。また、生徒が使用する昇降口とは別に、地域開放エリア共通の出入口を設けました。
2. L型の昇降口の吹き抜けは2Fに音が響くと思う。その為に2Fを特別教室にしているのであれば、吹き抜けをやめて普通教室を各学年別で配置してほしい。	各階のゾーニングについて <ul style="list-style-type: none"> ・1階は教職員が使用する管理諸室や開放諸室を配置 ・2階は全学年が使用する特別教室や生徒会室等の諸室をまとめるとともに、将来の地域開放へ備えた配置 ・3～4階は、生徒が使用する普通教室等をまとめた配置としております。 これは、懇談会等でご意見をいただき、生徒や教職員、学校支援者、一般利用者の導線を分けし、安全面に配慮し、生徒や教職員が安心して過ごせる計画を希望する意見が多かったことから、提案した案でございます。 また、1階から2階への大階段は、合唱や発表など授業での活用はもとより、神社の緑が見える設えを計画することによって、生徒の居場所の一つになると考えております。さらに、神明祭での活用なども想定しており、新しい神明中のシンボルとなりうる場所と考えております。 音環境については、各教室（特別教室）は十分な遮音壁を設け、他の授業の音による支障がない作りとします。吹き抜け部分については、廊下も含め十分な吸音を設けることで、学校全体に音が響かない設えとします。
3. オシャレでスマートな校舎ではなく、活動スペースをしっかりと確保した、実用的な設計をして欲しい。想像力を働かせて実際に通う子どもや先生方に寄り添った設計していくことが大切だと考える。	改築にあたっては、「杉並区立学校施設整備計画」に基づき、適切な施設規模を確保するとともに、懇談会や説明会等でいただいたご意見や学校で行った生徒や教職員へのアンケートなどを踏まえて、設計を進めております。

2 体育館

質問	回答
1. 一般開放で夜間使用している場合、音漏れがある。民家に面していない場所にデザインすることができないか。	体育館の構造は、遮音性能の高いSRC造を計画しております。 体育館を半地下に設置することで直接的な音を防ぎます。また、省エネ対応として開口部を出来る限り小さくし、遮音性能を考慮し設計を検討してまいります。

3 校庭

質問	回答
1. 校庭について、砂ぼこりが立たないように防砂林など環境も考えて砂ぼこりが立たない配慮があると良い。	校庭の舗装については、土埃が飛散しにくい校庭舗装材の導入を検討しております。また、校庭の周囲は、可能な範囲で既存樹木を残すとともに、歩道状空地等を設けることにより、既存樹木を伐採する場所については、新たな樹木を植えるなど、周辺環境に配慮した設計を検討してまいります。
2. 現在、サッカー部と共有しながら校庭を使用しています。テニスコートは3面（一面195㎡）取れますが、（新しい校庭では）何面取れるのか。	テニスコート（一面195㎡）を3面取れる計画としております。

4 防災関係

質問	回答
1. 空調は停電中であっても2教室分は稼働できること。	今回の神明中については、近年の猛暑日などにおける地震災害も考慮しまして、杉並区立の学校施設で初めて、停電時に非常用発電設備により空調を稼働させることを計画しております。しかし、他のコンセントや照明を動かすことも考慮し

		ますと軽油の貯蔵量から保健室1室で空調を動かすことを計画しております。
2.	各教室、体育館、校庭にAC非常用電源を整備すること。	非常用発電設備により、体育館・職員室・1階避難エリアなどのコンセント・照明の一部に電源供給する予定です。校庭については、現在のところ備蓄品の発電機の使用を想定しておりますが、必要な箇所については、今後実施設計で検討いたします。
3.	上下水道につながず利用し続けられる「完全循環型水栓トイレシステム」サスティナブルトイレを常設すること。	既存のトイレの数が足りなくなる場合や利用できなくなる場合等を想定し、敷地内にマンホールトイレを整備するとともに、簡易トイレの備蓄を行います。サスティナブルトイレの設置については、上記トイレとのすみ分けを整理することに加え、以下に記載いたします、機器の採用に関する基本的な考え方に準じているかどうかの検討が十分でないことから、現時点では、サスティナブルトイレを採用する状況には至っていないと考えております。 <区で材料・機器を採用する際の基本的な考え方> ①相応の実績があり、安定的な運用ができること ②類似の性能・仕様で複数社の製品があること ③基本的に汎用性があり、一定の競争性があること ④設置コスト、運用コスト（更新コスト）などが適正範囲と考えられること なお、今回の改築では、プールの水や井戸水をマンホールトイレに直接流すことができるような設えを計画しております。
4.	外部道路と学校敷地への出入口は、一度に大量の人の出入りができ、トラック、救急車などの車両通過のため大型が好ましい。	トラックや救急車などの車両が通過可能な門の広さを予定しております。
5.	災害時、震災救援所運営連絡会の本部が教室内に設置されます。これも体育館の隣の教室が好ましい。(WIFI、公衆電話回線、職員室の無線設備、保健室使用)	本部については、校舎1階の開放会議室を想定しております。 Wi-Fi 設備は、通常学校支援本部で使用しているものを災害時には震災救援所の任意の場所で使用することができます。 特設公衆電話の回線については、これまでの改築校と同様に、昇降口付近に3回線の設置を予定しております。 平常時、職員室に設置している無線機（IP 無線機）については、災害時は開放会議室等任意の場所に移動して使用することができます。 保健室については、非常用発電設備により空調を稼働させることを計画しております。災害時における保健室の具体的な使用方法については、今後学校や震災救援所運営連絡会と協議してまいります。

5 改築期間中の対応について

	質問	回答
1.	例年通りの授業が受けられるようにしていただきたい。工事で授業に集中できない、実験や実技など十分な経験が出来ないなどのないようにお願いしたい。	工事エリアと学校エリアを区分けし、解体工事では、防音パネルで囲いを作るなどの対策を行います。解体時も低騒音・低振動の重機を使用し、できるだけ、音や振動には配慮いたします。
2.	改築中でも給食は通常どおり出してください。	仮設校舎に給食室を整備し、これまで通り給食を提供する計画としております。
3.	運動や部活動が十分に出来なくなるのでは、また、体育祭などの行事が出来るのかどうか。特に部活動は子供にとって中学校生活の大きな部分を占める活動で、運動部の場所や時間の確保を最優先で計画を立ててほしい（同意見複数）。	現段階で、学校行事は従来通りに行うことができると考えております。例えば、体育大会は、近隣の学校に校庭利用の協力依頼をしております。また、合唱コンクール（文化発表会）もこれまで通り、杉並公会堂で実施する予定です。 改築工事期間中の代替の校庭については、現在、近隣の学校等に協力を依頼しているところです。教育委員会のできる限り対応し、生徒たちに支障のないように対応してまいります。詳細が決まりましたら、改めてご報告いたします。
4.	屋上も柵などの対策をして改良し、運動スペースに利用してもいいのではないか。	現在の校舎について、安全面への配慮から屋上へ出ない運用をしております。また、軽量鉄骨造の仮設校舎を想定しており、構造から考えると屋上に運動場を作ることは難しい状況です。休み時間に仮設校舎の体育館を使用するなど、学校と連携しながら運用面で工夫していきたいと考えております。
5.	改築中の仮校舎はエアコン、防音サッシ、空気清浄機を入れてほしい。特に3年生が受験勉強に支障が出ないように配慮していただきたい。	仮設校舎には、エアコンを設置いたします。また、工事エリアに近い教室については、必要な箇所に防音サッシを設けることを計画しております。また、生徒が長く滞在する普通教室は、工事エリアと遠い場所に配置することを予定しております。

6.	改築中も校内の設備やタブレット端末、ICT 機器などを揃え、授業はしっかり行ってほしい。	ICT環境については、仮設校舎にも現校舎と同程度の設備を設置する予定です。
----	--	---------------------------------------

6 その他

	質問	回答
1.	屋上が活用されていないとの話も聞くので、屋上緑化だけでなく、太陽光発電設備やSDGsを考慮した建築がよい	特別教室棟の屋根部、体育館・プール棟の屋根部には、30~40kWの発電量をもつ太陽光パネルを設置し、学校の日常の電力や災害時の電力として利用可能な計画です。
2.	校庭競技観覧用として教室の外部に通しのバルコニーは付けられないか。	現在のところ、2階の校庭側は、バルコニーを設置する計画ですが、現在の屋上の利用状況や他校の利用状況なども踏まえ、今後、精査してまいります。
3.	バルコニーは活用されていないようなので、日差しを和らげる庇を設置したらよいのではないか。	日常最も多く利用される普通教室部分には、水平庇と東側、西側からの日差しに対して日除けとなる、ルーバーを設置し熱負荷を低減する計画です。その他、必要に応じて庇を設け、日除けとする計画です。
4.	「旧校舎」を懐かしむスペースがあるといい。	開放入口前に「さくらひろば」を設けます。新植される「さくら」の木を、学校と地域が共に育て、神明の伝統を継承し、新しい伝統をつくる場として計画します。また、「さくらひろば」に面するホールには、伐採せざるを得ない、既存の桜を利用し、レリーフや家具などを検討しています。この場合は旧校舎の写真や神明の歴史を展示する場ともなることを想定しております。
5.	美術クラブが描いた壁画は残して欲しい。	残置してほしいものについては、複数要望が出されており、すべてを移設することは困難です。新校舎へ移設するものについては、学校と協議の上、決定してまいります。なお、現在のプール横にある壁画については、移設が困難であることから、写真等での保存を検討してまいります。
6.	境界についてどのような設えを考えているのか。	校庭部分はフェンスと植栽帯を設置する計画です。東側、北側については既存樹木を出来る限り残した計画とします。校舎の南側は、歩道状空地を設置し安全な登下校に配慮した計画とします。校舎との間には植栽帯を設け、街の景観に配慮した計画とします。神社との境界は、既存の擁壁を一度撤去し、新しくフェンス等を設ける予定です。
7.	必要電力量増加に対応可能な電力キャパシティが確保できると良い。	今後の改修を考慮して、受変電設備には予備として活用できる容量を設ける予定です。
8.	毎日重い荷物を持たなくていいように個人ロッカーのようなものがあると良い。	直近の改築校の実績や学校へのヒアリングを踏まえて、実施設計で検討してまいります。